

【ナレーター】

すべての人が、自分らしくよく生きられる社会のために

【NTT西日本グループのダイバーシティ推進担当 甲斐 由記】

日本の労働人口の減少。働ける人がいないという中、ジェンダー・ギャップ指数という、世界的な指標があるんですけど、日本って120位くらいでもものすごく低く、正直遅れていると思います。

働ける人だけでしっかり働いたらいいっていう世界観が今までだったと思うんですけど。それではもう多分、中長期的には会社は存続していけない。いかにそれに気づけて取り組みができるかってところが、会社の命運を分けるかなというふうに思っています。

【NTTビジネスソリューションズ 事業開発責任者 宮崎 一】

ダイバーシティ推進っていうのは、企業統治の中で非常に重要で経営としてやらないといけないことにはなるんですけど、これってやっぱり裏返すとダイバーシティがあることが、企業の競争力につながると思うんですね。この世界の激しい競争の中で戦っていくには、そういう人のところにもっと投資をして、人で勝ち抜いていく。そういうところで我々が貢献していければなという風に考えています。

【ナレーター】

そこで開発したのが karafuru AI です。

AIとの対話を通じて、利用者に無意識のうちに一方的なものの見方・捉え方をしていることに気付いてもらい、職場でのコミュニケーションの見直しを促します

実際のサービスを見てみましょう。

karafuru AI では職場におけるさまざまな場面の |on| をトレーニングできます。

女性活躍推進を例に挙げると

「管理職への推薦、ありがとうございます。ただ私には向いていませんし、今の仕事で満足しています。」という女性社員に対して

あなたが上司であったときに、どのように回答するか、自分のことばで答えを入力してみましょう。

回答ボタンを押すと、すぐにAIが5段階でスコア化。自分が入力した回答内容について、どのような点に改善するポイントがあるかを学習できます。

また、あわせてAIが回答例を表示。言い回しやキーワードなど、こういった答え方もあるのかと参考にできます。

さらに、このシチュエーションにおける行動を変えるための専門家からのアドバイスも表示。

気を付けたいポイントや実際の行動を変えるためのアドバイスが記載されていますので、知識としても身につけていただけます。

karafuru AI では、女性活躍以外にもジェンダー平等、エイジダイバーシティ、働き方の多様性など、様々なシチュエーションをご用意しています。

【NTTビジネスソリューションズ 事業開発責任者 宮崎 一】

解決課題は3つありまして、1つ目は 社員・従業員が自分ごととして取り組めるというような内容。2つ目が、従業員一人一人の個人に対してアプローチできるような内容であること。3つ目が、継続できること。行動変容するためには、「無意識の思い込み」これを日々直していくということが大事ですので、これをずっと継続できるようなそんな仕掛けが必要で、これをですね解決するために、生成 AI を用いたウェブツールというものでサービスを開発いたしました。

【DE&Iの専門家(パートナー企業:クオリア社 代表取締役) 荒金 雅子】

今回、lonl (ワンオンワン) の場面を設定して作りましたが、どのようなシチュエーションであれば自分ごとができるかとか、こういう経験ないけど、もしこういう場面に出会ったらどうしようと悩めるかっていう、その場面設定というかシチュエーションをどうするかっていうところはまず最初に少し考えました。

部下の側にも当然思い込みはあるわけですね、お互いの持つアンコンシャス バイアスをしっかりと読み解くことで、より適切な対応ができるようになるわけですので、そういったところをそのシチュエーションの中でどう含ませて、そこに対してそれをしっかりと排除したり対応できるような回答に持っていかっていうところですね。

【NTT西日本グループのダイバーシティ推進担当 甲斐 由記】

これだけ手軽に効率的に、そして誰かに教えてもらわず、AI を通して自分と向き合う時間を作るっていうのは、効果が大きいと思っていますし、コスパがいいと思っていますので、これを通して少しずつ 人の意識が変わり、多様性を受容できる社会に結びつくきっかけになればいいなと思っています。

【ナレーター】

自分自身の無意識の思い込みに気づき、相手に配慮した発言ができるよう、karafuru AI で、働きやすい職場をめざしましょう。